

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型： 固定資産整備型

決算対象年度： 令和05年度 対象年月： 令和 6年 3月
会計： 水源環境保全・再生事業会計
局： 環境農政局
所属： 環境農政局水源環境保全課（直通 045-210-4352）
公会計事業： 水源環境事業（水源）

1 主な事業内容

- ・水源環境保全・再生かながわ県民会議を実施する。
- ・水源林確保業務実施等により、荒廃した私有林を確保する。
- ・水源林整備事業の実施等により、荒廃した私有林の森林整備を実施する。
- ・山梨県との共同事業において、荒廃した森林を対象に、間伐や間伐に必要な作業道の整備をする。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

（単位：千円）

科目	R03決算	R04決算	R05決算	R03-R04増減率	R04-R05増減率
経常費用	2,797,874	2,736,995	2,854,532	△2.2%	4.3%
人件費	27,604	29,700	34,015	7.6%	14.5%
物件費等 ※	381,850	407,737	432,143	6.8%	6.0%
物件費	354,963	407,561	421,068	14.8%	3.3%
維持補修費	26,711	-	9,026	皆減	皆増
減価償却費	176	176	2,050	0.0%	1,061.6%
移転費用 ※	2,384,502	2,294,743	2,382,713	△3.8%	3.8%
補助金等	2,384,502	2,294,743	2,382,713	△3.8%	3.8%
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	1,474	3,252	3,722	120.6%	14.5%
使用料・手数料	-	-	-	-	-
その他	1,474	3,252	3,722	120.6%	14.5%
純経常行政コスト（経常収益－経常費用）①	△ 2,796,400	△ 2,733,743	△ 2,850,810	2.2%	△4.3%
臨時損失	-	1	-	皆増	皆減
臨時利益	-	-	-	-	-
純行政コスト（①－臨時損失＋臨時利益）	△ 2,796,400	△ 2,733,744	△ 2,850,810	2.2%	△4.3%
財源	4,286,588	4,431,970	4,540,046	3.4%	2.4%
税収等	4,286,588	4,431,970	4,540,046	3.4%	2.4%
国等補助金	-	-	-	-	-
本年度差額	1,490,188	1,698,226	1,689,236	14.0%	△0.5%
一般財源充当調整額	13,994	104,388	699	645.9%	△99.3%

（注）※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

（単位：千円）

科目	R04決算	R05決算	増減率	科目	R04決算	R05決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	2,394,538	2,811,579	17.4%	固定負債	-	-	-
有形固定資産	108,913	137,198	26.0%	県債	-	-	-
事業用資産	107,497	124,889	16.2%	長期未払金	-	-	-
土地	102,456	124,831	21.8%	退職手当引当金	-	-	-
建物	-	-	-	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
工作物	-	-	-	流動負債	-	-	-
工作物減価償却累計額	-	-	-	県債	-	-	-
その他	58	58	0.0%	未払金	-	-	-
建設仮勘定	4,983	-	皆減	賞与等引当金	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	預り金	-	-	-
土地	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
建物	-	-	-				
建物減価償却累計額	-	-	-				
工作物	-	-	-				
工作物減価償却累計額	-	-	-				
その他	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
物品	1,416	12,309	769.1%				
無形固定資産	3,503	3,503	0.0%				
投資その他の資産	2,282,122	2,670,879	17.0%	負債合計	-	-	-
流動資産	203,344	175,540	△13.7%	純資産合計	2,597,882	2,987,120	15.0%
資産合計	2,597,882	2,987,120	15.0%	負債及び純資産合計	2,597,882	2,987,120	15.0%

（注）負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書（経常費用の経年比較）

主な増減（R04-R05の比較）は補助金等が 0.9 億円（ 3.8 %）増加しています。要因としては、水源林に係る補助金等が増となったためです。

② 貸借対照表（資産の部）

R05決算の内訳は、投資その他の資産が 26.7 億円で、資産の 89.4 %を占めています。そのほか、土地が 1.2 億円となっています。

③ 貸借対照表（負債の部）

—

④ 貸借対照表（純資産合計）

R05決算では、資産合計 29.9 億円と同額が純資産合計となり、純資産比率（純資産合計/資産合計）は 100.0 %です。

⑤ 貸借対照表（資産の経年比較）

主な増減（R04-R05の比較）は、投資その他の資産が 3.9 億円（ 17.0 %）増加しています。要因としては、水源環境保全・再生基金の増によるものです。

（注1）②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

（注2）③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

（注3）他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費（退職手当引当金等）」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。